

事業所防災リーダー通信 2025 Vol.18

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



災害時はもちろん、日頃から応急救護に備えよう



あなたの事業所・店舗で突然人が倒れた場面を想定してください。
万一の事態に備えて、次の2つを今一度チェックしておきましょう。



1 事業所・店舗に、またはその近くのどこにAEDがありますか？

倒れた人が心肺停止のときは、一分一秒が生死を分けます。
少しでも早くAEDを使用できるように、どこにAEDがあるか事前に確認しておきましょう。



2 適切な応急救護を行うには、どのような準備や知識が必要だと思いますか？

いつ、どこで、自分の周りにいる人が心肺停止になるかわかりません。
近くに居る従業員が適切に対応できるようにしておきましょう。

業種ごとに必要な応急救護は異なります

平常時と災害時の両面で、起こるかもしれないケガや病気をあらかじめ想定し、対処方法を確認しましょう。
例：「火を扱う飲食店ではヤケドの恐れがある」「災害時は、ガラスの破片でケガをする恐れがある」など

【応急救護について知る方法】

●応急手当 →「東京防災」210～217ページ ●傷病者の搬送方法 →「東京防災」218ページ

消防署で行われている救命講習会に参加して勉強するのも良いでしょう。

消防署によっては出張して講習会を開いてくれるところもあります。

(参考)◆東京消防庁 応急手当講習会 https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/kyuu_adv/life01-1.html
◆総務省消防庁応急手当WEB講習 <https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/>



東京防災は
東京都防災HPで
閲覧できます

【災害時の応急救護について】

地震発生時はケガが多発し、医療業務がひっ迫するため、通常時とは異なる医療体制となります。
下記に記載の施設の場所や役割を確認し、適切な医療機関につなげられるようにしましょう。

1.医療救護所 …発災時の傷病者のトリアージ(治療優先度の決定)、軽症者の処置

2.災害拠点病院等

災害拠点病院

主に重傷者の収容・治療

災害拠点連携病院

主に中等症者・安定した重傷者の収容・治療

災害拠点支援病院

専門医療・慢性疾患対応、地域防災計画に基づく医療救護活動
※災害拠点病院及び災害拠点連携病院を除くすべて

※出典元
「東京事業所防災実践マニュアル」P62～P65「7.応急救護の方法を確認すべし」より

東京事業所
防災実践
マニュアル
はこちら▶



東京都からのお知らせ

「消防団員募集中」

1月15日は「Tokyo消防団の日」です。

会社員・自営業・学生など、男女を問わず、さまざまな方が消防団員として活動しています。
あなたも、首都東京を守る消防団員になってみませんか。
[入団資格]都内に在住・在勤・在学する18歳以上の健康な方

最寄りの消防署(23区に在住の方)か、各市町村(市町村に在住の方)へ。
東京都防災HPや特別区消防団HPからも入団手続きができます。
地域への社会貢献を果たしていることアピールできる「消防団協力事業所表示制度」もあります。

特別区
消防団
HP▶



東京都
防災
HP▶



消防団協力事業所
表示制度について▶

